

第3回国際根研究学会（I S R R）シンポジウムに参加して

東京大学農学部 阿部 淳

昨年8月末より9月上旬にかけて、ウィーンで開催された「国際根研究学会」(International Society of Root Research, 以下「I S R R」)の第3回シンポジウム、ならびに、同学会主催の現地検討会に参加してきました。日程を追って簡単にご報告します。

チェコスロバキア現地検討会（8月29日～9月1日）

スロバキア科学院のキュビチェック教授を中心に、各国より総勢40名ほどが参加して、スロバキア地方の山岳および林業試験場の森林を見てまわった。

8月29日～30日はポーランド国境に近いタトラ山（標高 2,080m）において、高度別の植生の違い、および、大気汚染やリゾート開発による森林の被害状況を視察した。トウヒ、ゴヨウマツなどの類の針葉樹を主体とした植生であったが、大気汚染とそれにとともなう酸性雨により、葉の黄化や落葉の著しい個体が多くみられた。スロバキアの研究者らの話によると、ポーランドのめざましい工業化にともない年々落葉の程度が著しくなっているようである。

31日と9月1日は、スロバキア内の林業試験場2箇所を訪問し、現地研究者との討論および演習林の見学をおこなった。これら試験場の演習林でも、大気汚染の影響が著しく、酸性雨による土壌の酸性化も問題となっていた。

シンポジウム（9月1日～6日）

"Root ecology and its practical application"という全体テーマのもと、オーストリアの首都ウィーンの郊外にある農科大学を会場にシンポジウムが行われた。実行委員長は同国のクッチェラ教授、参加者は多岐にわたり、森林・農地・草地の根の研究者に加え、土壌学や微生物学の専門家も参加した。連日、朝から夕方7時頃まで、総勢 350人程度、常時100人程度が出席して、口頭やポスターによる研究発表ならびにテーマごとの討論が行われた。

特に今回は、根の長さや分布といった形態的・量的形質を的確に評価できる方法はあるのか、また、そうした研究の成果を、養水分吸収といった機能や根の生理学的寿命とどう結び付けるかというあたりに関心が集まっていたように感じられた。また、菌根菌などに関する発表も多かった。日本からは10件ほどの発表が行われたが、質の高い研究が多かったようである。

後日、論文集 (proceeding) が刊行される予定である。I S R R事務局からの案内があり次第、この会報でもお知らせしたい。

4日夕方と6日午前には、ウィーン近郊で、砂質土壌や塩類集積土壌といった特殊な土壌環境下における根の形態の現地説明会も行われた。

アルプス山岳部の植生現地検討会（9月6日～9日）

9月6日午後より、クッチェラ教授をはじめとするオーストリアの植物形態学・生態学の研究者らの案内で、約50名の参加者とともに標高2,500m程度のアルプス山岳部の多様な植生を見てまわり、地下部も含めて植物を観察した。

全体をふりかえって

スロバキアの現地検討会からアルプスの現地検討会終了まで、途中に全く休日のない過密な日程ではあったが、その分活発に議論もでき、ベテラン・若手の別を問わず、広く欧米、アジア、共産圏（当時）の各国に知己を得ることができた。ただ、テーマによっては、日本の研究が進んでいるにもかかわらず、あまり国際的には知られていないものもあり残念であった。

次回の第4回シンポジウムは、1994年に旧ソ連邦カザフ共和国のアルマータで開かれる予定である。現在のロシア情勢からして変更の可能性もあるが、無事開催されれば、研究発表に加えて、カザフステップなどの乾燥地の植生を見て回るような企画も組まれることと思われる。興味のある方は参加されたい。

「国際根研究学会」のご案内 ----- International Society of Root Research (ISRR)

国際根研究学会 (I S R R) は、植物の根に関心を持つ研究者相互のコミュニケーションと根研究の促進を目的に1982年に設立された非営利の民間団体で、下記のような活動を行っています。会長のほか、世界各地域から暫定的に副会長と評議員を出しています。

ニューズレター：不定期で、近年は年1～2回程度の発行です。1992年2月現在で、第5号（1991年8月）までが発行されています。I S R Rの連絡事項のほか、根に関する出版物や勉強会などの情報が載せられています。

シンポジウム：第3回については前頁の報告をご覧ください。今後の予定は次の通りです。

第4回 1994年9月 カザフ共和国(旧ソ連邦)アルマータ、第5回 1996年 アメリカ合衆国

I S R Rに入会を希望される方は、会長の Prof. Hans Persson宛に直接お問い合わせ下さい。

宛先： Prof. Hans Persson, Department of Ecology and Environmental Research, The Swedish University of Agricultural Sciences, Box 7072, S-750 07, Uppsala, SWEDEN.

これまでのところ、会費等は不要です。ボランティアでの運営のため、ニューズレターが確実に発送されない場合もあるようです。本誌にて発刊のご案内は致しますので、各自ご確認下さい。